

授業科目	* 公衆衛生看護学概論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	伊藤 直子										
授業概要	<p>本授業は行政保健師の経験を持つ実務家担当教員が、地域で生活する人々の健康を支援していくために公衆衛生看護の基本概念をふまえ、公衆衛生看護活動の機能・役割について解説する。</p> <p>また、日本において、少子高齢社会のなか、予防の重要性が強くうたわれ、健康な地域づくりが重要な課題となる。さらに療養の場が地域へと拡大する中、地域における看護の役割が大いに期待されている。その期待に応えるために必要な視点や意義について解説する。</p>										
授業形態	講義	授業方法	振り返りフォームで学習状況を確認する								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 公衆衛生看護の基本理念について説明できる。(DP1-2)</p> <p>2. 公衆衛生看護の対象を説明できる。(DP1-2)</p> <p>3. 公衆衛生看護活動の機能・役割を説明できる。(DP1-2、2-1)</p> <p>4. 保健医療福祉を取り巻く社会の変遷と公衆衛生看護活動の関連性を理解し、公衆衛生看護活動の意義について説明できる。(DP2-1、3-2)</p> <p>学生が達成すべき行動目標1～4を達成すること。</p>										
理想的レベル	<p>標準的レベルに加え、これからの日本社会における公衆衛生看護活動についての展望を検討し、説明できる。</p> <p>保健師課程選択希望の学生は、理想的レベルの達成を期待します。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験	80%										
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	20%			振り返りフォームへの積極的参加状況							
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21501J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
復習: 講義内容について整理しておく										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ 公衆衛生看護の基本理念(伊藤)</p> <p>公衆衛生看護の基盤となる公衆衛生及び公衆衛生看護の理念について、解説する。</p>										
第2回	<p>テーマ 公衆衛生看護学の概念(伊藤)</p>										

	<p>公衆衛生看護が対象とする地域について解説する。</p> <p>学生自身が地域で生活する生活者であることを認識し、地域とは何かを理解する。また、公衆衛生看護学の目的について実践事例を通して解説する。</p>
第3回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の歴史（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護活動の発生とその時代の背景について解説する。</p>
第4回	<p>テーマ 公衆衛生看護の対象（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護の対象である個人・家族について、その特性と援助の必要性・支援方法を解説する。</p>
第5回	<p>テーマ 公衆衛生看護の対象（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護の対象である集団・組織、地域について、その特性と援助の必要性・支援方法を解説する。</p>
第6回	<p>テーマ 社会環境の変化と健康課題（伊藤）</p> <p>人口、疾病構造、社会構造及び文化的背景の変化と健康課題について解説する。</p>
第7回	<p>テーマ 社会環境の変化と健康課題（伊藤）</p> <p>社会情勢及び環境の変化と健康課題について解説する。</p>
第8回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（伊藤）</p> <p>行政機関における公衆衛生看護活動について、実践活動を通して、具体的に解説する。</p>
第9回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（伊藤）</p> <p>職域及び学校における公衆衛生看護活動について、実践活動を通して、具体的に解説する。</p>
第10回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（伊藤）</p> <p>医療施設、福祉施設および国際における公衆衛生看護活動について、具体的に解説する。</p>
第11回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開の基盤（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護の展開の基盤となる理論および基本的な展開方法について解説する。</p>
第12回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開方法（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護活動における地域アセスメントおよび看護過程について解説する。</p>
第13回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開方法（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護活動における地域アセスメントおよび看護過程について実践事例（地域診断）を通して解説する。</p>
第14回	<p>テーマ 公衆衛生看護活動の展開方法（伊藤）</p> <p>公衆衛生看護活動における地域アセスメントおよび看護過程について実践事例（看護過程）を通して解説する。</p>
第15回	<p>テーマ 授業のまとめ（伊藤）</p> <p>今までの講義で出てきた疑問及び学習を深めるべき内容について解説する。</p>
テキスト	なし
参考図書・教材／データベース	授業時、随時、紹介します。

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	単元ごとの振り返りフォームを通して、コメントを随時返していきます。
学生への メッセー ジ・コメ ント	<p>学生自身が生活者として、生活を取り巻く環境を認識し、地域で生活する人々を取り巻く健康に関する現状や課題について、関心を持ち、授業に臨むこと。</p> <p>1年後期で受講した公衆衛生学を基礎知識として復習しておくこと。</p> <p>担当教員に対して、講義を通じての疑問や課題検討についての助言を積極的に求めることを期待します。</p>